

	徳島大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：70名、第3年次：10名）</p> <p>放射線技術科学専攻（第1年次：37名、第3年次：3名）</p> <p>検査技術科学専攻（第1年次：17名、第3年次：3名）</p> <p>保健科学教育部（M：27名、D：5名）</p>
沿革・設置目的	<p>徳島大学医学部附属看護学校、附属診療エックス線技師学校（昭和44年（1969年）附属診療放射線技師学校に改組）、附属衛生検査技師学校（昭和47年（1972年）臨床検査技師学校に改組）及び附属助産婦学校を経て徳島大学医療技術短期大学部が設置された後、看護学、放射線技術科学及び検査技術科学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 徳島大学設置</p> <p>昭和26年（1951年） 徳島大学医学部厚生女学部（昭和24年（1949年）に徳島医科大学厚生女学部から改称）が医学部附属看護学校に改称</p> <p>昭和32年（1957年） 医学部附属助産婦学校設置 （平成18年（2006年）助産学専攻科に改組、平成24年（2012年）3月廃止）</p> <p>昭和35年（1960年） 医学部附属診療エックス線技師学校設置 （昭和44年（1969年）から附属診療放射線技師学校に改組）</p> <p>昭和38年（1963年） 医学部附属衛生検査技師学校設置 （昭和47年（1972年）から附属臨床検査技師学校に改組）</p> <p>昭和62年（1987年） 徳島大学医療技術短期大学部設置 （平成3年（1991年）専攻科助産学特別専攻設置、平成17年（2005年）廃止）</p> <p>平成13年（2001年） 医学部保健学科設置</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成18年（2006年） 大学院保健科学教育部修士課程設置 （平成20年（2008年）博士課程を設置）</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 徳島大学の理念等に基づき、四国地区の国立大学で唯一、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の学部から大学院博士課程まで一貫した教</p>

育体制や医療系3学部5教育部を有する環境を活かし、倫理観や実践力のあるチーム医療、地域医療、国際医療に貢献できる医療人及び研究者を育成する。

- 大学院では高度な実践力や研究能力を育成し、地方大学等の看護・医療技術系教育を担う教員の充実に貢献するとともに、がん看護専門看護師や放射線治療専門診療放射線技師、医学物理士、超音波検査技師等の高度専門職医療人の育成を推進する。
- 学部・研究分野の枠を超えた教育研究活動を行い、複合的な視点で医療・保健を評価・分析・理解する能力を有する若手研究者を含む幅広い研究者を育成する。子どもの心の問題の発症予防や電子看護管理システム等をはじめとする、他の医療系分野や人文・理工系分野との連携を活かした研究や地域貢献を推進する。